

# 明日の未来農地を創造する。



福祉民生常任委員会委員

日本共産党  
原 大  
はら だい

## ワンマイルスマイル!

私が関わった人や農地から、半径1マイル(約1.6km)に笑顔を届けるという、私の活動スローガンです。地域に身近に接することで課題解決し、その方々に笑顔を届けるこの活動を安中市全体に広げていきます。

### 子育てするなら安中市

- 学校給食費完全無料化
- 出生祝い金制度の新設(一人20万円)
- (保育)給食費と0~2歳児保育料を無料化

### 高齢者支援・医療・介護の充実

- 国保税・介護保険料の負担軽減の要求
- 制度改悪の反対を要求し、安心して利用できる介護保険を実現

### 安中市の基幹産業としての農業

- 耕作放棄地ストップ(農業への関係人口形成)
- 若者の起業支援の充実・拡充
- 安全安心な食材提供、地産地消、食料自給率アップ

### 障がい者、引きこもり、LGBTQ それぞれの個性が生きるまちづくり

- コロナ以降減退した工賃アップのための受注拡大支援
- 農福連携のための農業版ジョブコーチ創設
- LGBTQの生きづらさへの環境改善と理解促進

## プロフィール

1968年安中市下秋間生まれ 1992年青山学院大学経営学部経営学科卒

<金融機関> 地方支社にて販売員への教育担当として販売員の販売員資格試験合格率で全国220支社中第1位を獲得。その後本社にて新商品等の事務フロー設計

<調査研究機関> 企業のリスクマネジメント調査、知的財産権ビジネス調査等手掛ける

<人材サービス会社> マーケティング企画における業績が評価され、社員数千人の中から5名が選ばれる特別社長賞を入社1年目で受賞。ホームレス、受刑者、母子家庭等社会的弱者の就労支援の新規事業開発を担当。障がい者雇用支援事業部長として障がい者福祉サービス事業(4拠点)の企画立案・運営、企業コンサルティング実施。その後、富岡市にて、障がい者を雇用して養蚕を行うプロジェクト立上げ責任者として地元へ異動帰郷。40名超の障がい者が生き生き働く職場が目目される等多数のメディア取材対応(後に農水省6次産業化アワード大臣官房長賞受賞)

<農業を起業> 50年後の未来に農地を残すことを目指し、2021年起業、2023年4月法人化

※上毛新聞第27期オピニオン委員 ※県立高崎高等特別支援学校 学校評議員